

# だい 第7 へいせい 平成23年度の数值目標 ねんど 年 だう とう ち もく ひょう 数値目標

## 1 もくひょうちいちらん 目標値一覧

### (1) にゆうしょせつ にゆうしょしゃ ちいきせいかつ いこう 入所施設の入所者の地域生活への移行

こうもく 項目	すうち 数値	びこう 備考
だい きげいかくじてん 第1期計画時点の にゆうしょしゃすう 入所者数	2,528人	へいせい ねん がつじてん エー 平成17年10月時点 (A)
ちいきいこうもくひょうち 地域移行目標値	480人	しせつにゆうしょ 施設入所からグループホーム とう いこう かた 等へ移行する方
もくひょう ねんど にゆうしょしゃ 目標年度入所者 すう 数	2,158人	へいせい ねんど もくひょう ビー 平成23年度の目標 (B)
さくげんみこみもくひょうち 削減見込目標値	370人	エー ビー (A) - (B)

### (2) にゆういんちゆう せいしんしょう しゃ ちいきせいかつ いこう 入院中の精神障がい者の地域生活への移行

こうもく 項目	すうち 数値	びこう 備考
だい きげいかくじてん はあく 第1期計画時点の把握 すう 数	400人	へいせい ねんどほっかいどうざいいんかんじゃちようさ 平成17年度北海道在院患者調査 たいいん か のうせいしんしょう しゃすう の退院可能精神障がい者数
もくひょうげんしょうすう 目標減少数	400人	じようさ へいせい ねんどまつ 上記のうち、平成23年度末まで げんしょう めざ かず に減少を目指す数

### (3) ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこう 福祉施設から一般就労への移行

こうもく 項目	すうち 数値	びこう 備考
だい きげいかくじてん ねんかん 第1期計画時点の年間 いっばんしゅうろういこうしゃすう 一般就労移行者数	22人	へいせい ねんど ふくししせつ 平成17年度において福祉施設を たいしよ いっばんしゅうろう かた かず 退所し、一般就労した方の数
もくひょうねんど ねんかん 目標年度における年間 いっばんしゅうろういこうしゃすう 一般就労移行者数	100人 (4.5倍)	へいせい ねんど ふくししせつ 平成23年度において福祉施設を たいしよ いっばんしゅうろう かた かず 退所し、一般就労した方の数

## もくひょうちせつてい かんが かつ 《目標値設定の考え方》

もくひょうち せつてい あ くに きほんししん ほっかいどう さくていほうしん かか  
目標値の設定に当たっては、国の基本指針や北海道の策定方針に掲げる  
もくひょう そく さつぼろし じつじょう おう もくひょうち せつてい だい きけいかく  
目標に即し、札幌市の実情に応じた目標値を設定しており、第2期計画にお  
だい きけいかく せつてい もくひょうち たつせい めざ  
いても、第1期計画で設定した目標値の達成を目指していきます。

## にゆうしょしせつ にゆうしょしゃ ちいきせいかつ いこう 2 入所施設の入所者の地域生活への移行

### にゆうしょしせつ ちいきせいかつ いこうしゃすう (1) 入所施設から地域生活への移行者数

くに きほんししん だい きけいかくじてん しせつにゆうしょしゃすう わりいじょう ちいきせいかつ 国の基本指針：第1期計画時点の施設入所者数の1割以上が地域生活へ いこう めざ 移行することを目指す。
どう さくていほうしん だい きけいかくじてん しせつにゆうしょしゃすう わりいじょう ちいきせいかつ 道の策定方針：第1期計画時点の施設入所者数の2割以上が地域生活 いこう めざ へ移行することを目指す。
さつぼろし もくひょう だい きけいかくじてん へいせい ねん がつ しせつにゆうしょしゃすう 札幌市の目標：第1期計画時点（平成17年10月）の施設入所者数のう にん パーセント いじょう ちいきせいかつ いこう ち 480人（19.0 %）以上が地域生活へ移行すること めざ 目指します。

### しせつにゆうしょしゃすう さくげん (2) 施設入所者数の削減

くに きほんししん へいせい ねんどまつじてん しせつにゆうしょしゃすう だい きけいかくじてん 国の基本指針：平成23年度末時点の施設入所者数が第1期計画時点にお しせつにゆうしょしゃすう パーセントいじょうさくげん きほん ける施設入所者数から7 % 以上削減することを基本と する。
どう さくていほうしん へいせい ねんどまつじてん しせつにゆうしょしゃすう だい きけいかくじてん 道の策定方針：平成23年度末時点の施設入所者数が第1期計画時点にお しせつにゆうしょしゃすう パーセントいじょうさくげん きほん ける施設入所者数から14 % 以上削減することを基本と する。
さつぼろし もくひょう へいせい ねんどまつじてん しせつにゆうしょしゃすう だい きけいかくじてん 札幌市の目標：平成23年度末時点の施設入所者数が第1期計画時点 へいせい ねん がつ しせつにゆうしょしゃすう にん （平成17年10月）における施設入所者数から370人（14.6 パーセント いじょうげんしょう めざ %）以上減少することを目指す。

## ア 第1期計画期間中の進ちよく状況

### ① 入所施設から地域生活への移行者数

入所施設の入所者の地域生活への移行については、平成20年9月末までに234人という実績になっています。

	ねんど H18年度	ねんど H19年度	ねんど H20年度
入所施設の入所者の地域生活への移行者数	99人	62人	73人 ※～H20.9

※ H18年度はH17.10～H19.3の実績である。

### ② 施設入所者数の削減

施設入所者数については、平成19年度末時点で2,479人（平成17年10月時点からの削減数49人）となっています。

		H17.10 じてん 時点	ねんど H18年度	ねんど H19年度
施設入所者数の削減	施設入所者数	2,528人	2,505人	2,479人
	削減数	—	23人	49人

※ 削減数は、平成17年10月時点の施設入所者数と比較した数値である。

## イ 今後の取組の方向性

以下のような取組を進め、地域生活への移行をより一層促進するとともに、新規入所の削減を図っていきます。

- ① グループホーム等設置費補助などの活用を促進し、引き続き居住サービスの充実を図っていきます。
- ② 既存事業者の新体系への移行や新規事業者の参入を促進するなど、引き続き日中活動の場の拡充を図っていきます。
- ③ 身近な地域における相談支援体制を一層充実させるため、相談支援

じぎょうしょ かくじゅう ちいき じりつしえんきょうぎかい かつよう ちいき  
 事業所の拡充とともに、地域自立支援協議会を活用した地域のネットワ  
 ークづくりを推進していきます。

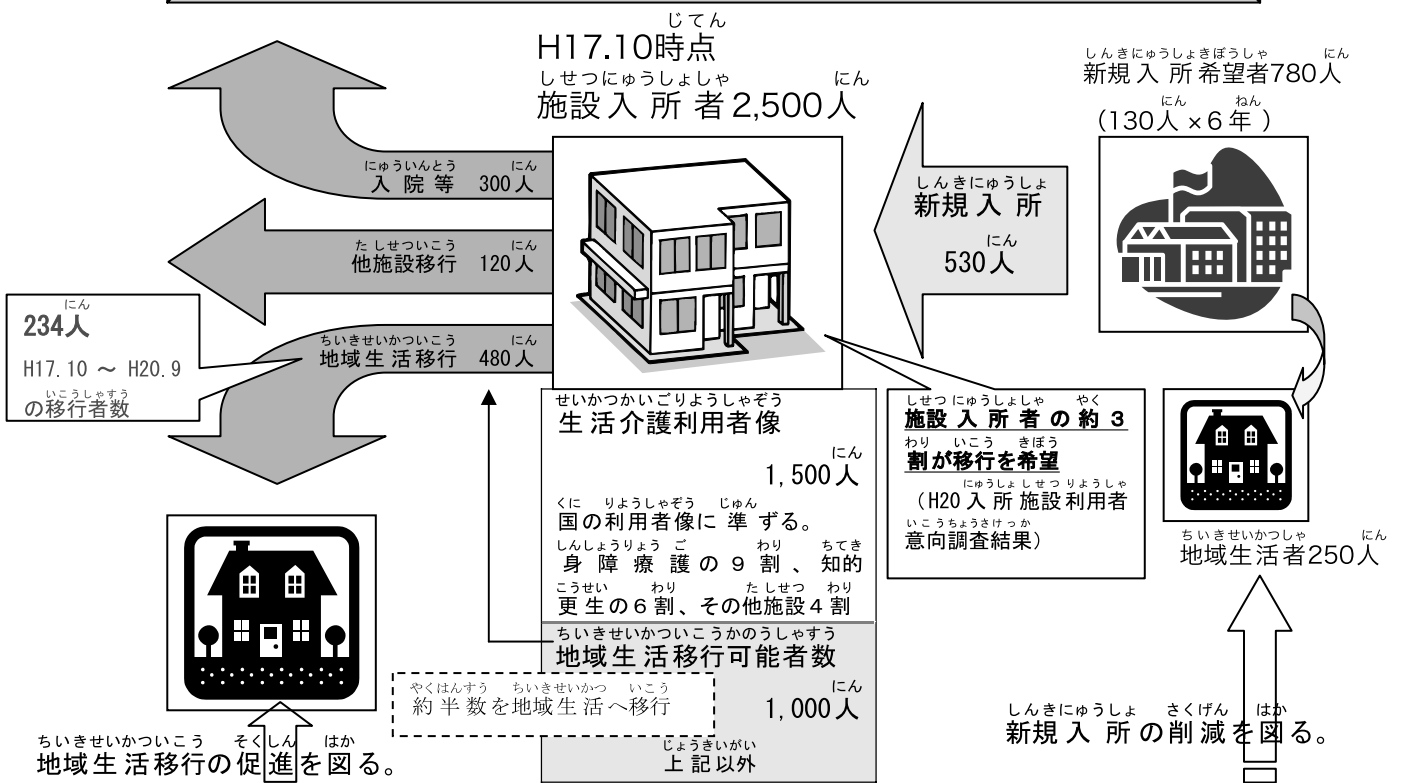
④ 個々のニーズに応じた適切なサービス提供に向け、居宅介護事業所な  
 どを対象とした個別支援計画作成研修を引き続き実施していきます。

⑤ 地域生活に係る不安を解消し、円滑な移行を進めるために、施設入所  
 者を対象とした地域生活体験事業の実施について、入所施設、支援機関、  
 当事者団体等の関係機関と連携しながら検討していきます。

⑥ 地域で暮らす特に重度の障がいのある方を対象として、介護サービス  
 の提供の方法の工夫による効率的な介護時間の拡充について、障がい  
 のある方と協議しながら検討していきます。

《入所施設から地域生活への移行について》

平成18年度～平成23年度 入所施設利用者の動向見込み



- 地域生活に必要なグループホーム等の生活基盤整備の一層の充実
- 訪問系・日中活動系サービス・相談支援の一層の整備及び質の向上を図り、地域生活を支援
- 施設入所者に対する地域生活体験や特に重度の障がい者に対する介護時間拡充の方策の検討などを通じた円滑に地域生活へ移行できる体制の整備及び地域移行後の生活の安心の確保

### 3 入院中の精神障がい者の地域生活への移行

くに きほんしんしん へいせい ねんどかんじゃちょうさ はあく たいいんかのうせいしんししょう  
国の基本指針：平成14年度患者調査において把握している退院可能精神障がい者が、平成24年度までに退院することをめざす。

どう さくていほうしん へいせい ねんどほっかいどうざいいんかんじゃちょうさ はあく たいいんかのうせいしんししょう しゃ へいせい ねんどまつ ちいきせいかつ いこう  
道の策定方針：平成17年度北海道在院患者調査において把握している退院可能精神障がい者が、平成23年度末までに地域生活に移行することをめざす。

さっぽろし もくひょう へいせい ねんどほっかいどうざいいんかんじゃちょうさ はあく たいいんかのうせいしんししょう しゃぜんいん にん ちいきせいかつ いこう  
札幌市の目標：平成17年度北海道在院患者調査において把握している退院可能精神障がい者全員（400人）が地域生活へ移行することをめざす。

#### (1) 第1期計画期間中の進捗状況

へいせい ねんど じっし ほっかいどうざいいんかんじゃちょうさ けつか にゅういんきかん  
平成19年度に実施された北海道在院患者調査の結果によると、入院期間3  
ねんいじょう たいいんかのうせいしんししょう しゃ にん  
年以上の退院可能精神障がい者は、372人となっています。

#### (2) 今後の取組の方向性

いか とりくみ すす ちいきせいかつ いこう いっそうそくしん  
以下のような取組を進め、地域生活への移行をより一層促進していきます。

- ① グループホーム等設置費補助などの活用を促進し居住サービスの充実を図っていくとともに、公営住宅や民間賃貸住宅への入居を支援する居住サポート事業を引き続き実施していきます。
- ② 入院中の精神障がい者を対象とした地域生活移行支援事業を実施し、精神障がいのある方の円滑な地域への移行を支援していきます。
- ③ 訪問系サービス、日中活動系サービスなど退院後の生活を支える各種サービスの拡充と円滑な実施を引き続き図っていきます。
- ④ 身近な地域における相談支援体制を一層充実させるため、相談支援事業所の拡充とともに、地域自立支援協議会を活用した地域のネットワークづくりを推進していきます。
- ⑤ 個々のニーズに応じた適切なサービス提供に向け、居宅介護事業所など

たいしょう こべつしえんけいかくさくせいけんしゅう ひ つづ じっし  
 を対象とした個別支援計画作成研修を引き続き実施していきます。

せいしんしょう しゃちいきせいかついこうしえんじぎょう  
 ≪精神障がい者地域生活移行支援事業について≫

しょうじょう かんかい かぞく うけいれこんなん せいかつ ば かくほ こんなん しゃかいてきやういん にゆういん  
 症状は寛解しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの社会的要因により入院  
 (しゃかいてきにゆういん) している精神障がいのある方を対象に、市内の精神科病院、相談支援事業所などの  
 かんけいきかん れんけい じりつしえんいん どう きやうりよく え こべつしえんおよ たいいんくんれん おこな  
 関係機関と連携し、自立支援員がピアサポーター等の協力を得ながら個別支援及び退院訓練を行  
 ちいき ちいき かつやう ちいきせいかつ いこう すいしん  
 い、地域のネットワークを活用しながら、地域生活への移行を推進していきます。

